

# ふるさと東総

令和6年3月1日発行 No.23



令和6年1月22日 海上コミュニティ運動公園野球場（旭市）に架かる二重の虹（旭市役所海上庁舎から撮影）

〈編集・発行〉

東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2604

千葉県旭市高生1番地  
(旭市役所海上庁舎2階)

電話:0479-85-8040

FAX:0479-85-8045

URL:<http://www.tksj.jp/>

二次元コード



## CONTENTS 目次

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ 2
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要 …… 2
- 銚子連絡道路整備促進事業 …… 3
- 職員採用試験合同実施事業 …… 3
- 職員共同研修事業 …… 3
- ごみ処理広域化推進事業 …… 4
- 組合議会 …… 4

## はじめに ～東総地区の均衡ある発展を目指して～

令和6年元日に発生した能登半島地震において犠牲になられた方々にご遺族に対し、深くお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

昨年令和5年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々な行事やイベントが再開されるなど、地域に活気や賑わいが戻ってきたことを感じられる年でした。

当組合の事業では、4年ぶりとなる銚子連絡道路整備促進地区大会を千葉県副知事、国土交通副大臣をはじめ多くのご来賓と関係者にご臨席いただき開催することができました。

工事が進められている横芝光町から匝瑳市の区間もいよいよ開通間近となり、残る区間の事業促進が期待されます。地域経済の活性化のため、そして災害時にも機能する道路ネットワーク確保のため、今後も銚子連絡道路の一日も早い全線開通を国・県に要望してまいります。

また、令和3年度から稼働している広域ごみ処理施設、東総地区クリーンセンターでは、現在、順調に三市のごみ処理が行われています。令和6年度からは、ごみ処理の効率化をさらに高めるため、旭市と匝瑳市の既存ごみ処理施設を解体撤去し、新たな中継施設の整備を進めてまいります。

結びに、東総地区全体の発展のため、より一層の連帯と協調のもと取り組んでまいりますので、圏域内の住民の皆様には、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



東総地区広域市町村圏事務組合管理者(旭市長) 米本 弥一郎

## 東総地区広域市町村圏事務組合の概要

### 事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：316.16 km<sup>2</sup>

圏域人口：157,216人

銚子市 面積：84.20km<sup>2</sup> 人口：58,431人

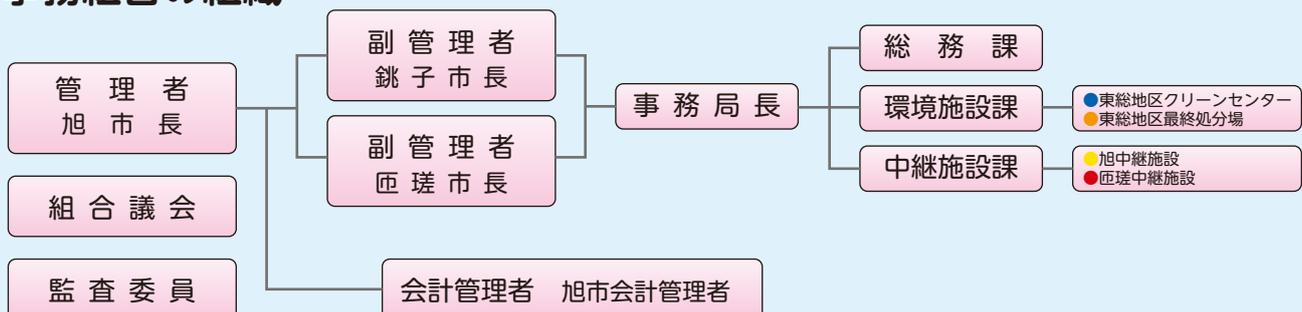
旭市 面積：130.48km<sup>2</sup> 人口：63,745人

匝瑳市 面積：101.48km<sup>2</sup> 人口：35,040人

【令和2年国勢調査より】



### 事務組合の組織



# 銚子連絡道路整備促進事業

## 地区大会

令和5年7月14日、千葉県東総文化会館において、銚子連絡道路整備促進地区大会を開催しました。

国、県、沿線市町関係者等大勢の方々の出席のなか、大会主催者代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「地域経済の発展を促し、災害時にも機能する安全・安心な道路網の整備が重要であり、銚子連絡道路の一日も早い完成が必要である。」と全路線の早期整備を訴えました。



▲あいさつする米本会長



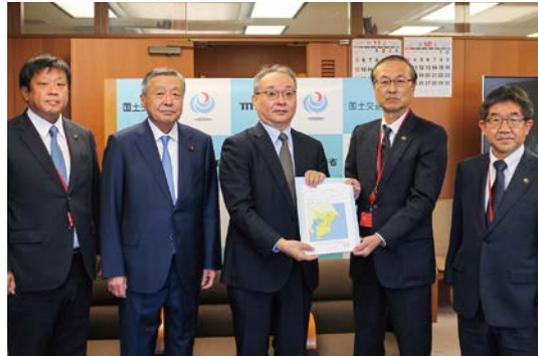
▲穴澤千葉県副知事（右）へ要望書を提出

## 要望活動

銚子連絡道路整備促進地区大会での決議をふまえて、令和5年11月27日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出議員である林幹雄衆議院議員の紹介で、衆・参国會議員、財務省、国土交通省及び関東地方整備局を訪問し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。



▲国土交通省での要望活動の様子（左：堂故茂国土交通副大臣と面談、右：吉岡技監と面談）



## 職員採用試験合同実施事業

- ◆目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験（第1次試験）を合同で実施し、経費の節減を図ります。（※）
  - ◆実施日：令和5年9月17日(日)
  - ◆試験会場：銚子市立銚子高等学校
  - ◆参加団体：銚子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合、東総広域水道企業団、八匠水道企業団
  - ◆試験職種：12職種（一般行政職、技術職等）
  - ◆応募者数：226人 ◆受験者数：194人
- ※第2次試験以降の試験（面接等）は、各団体で行っています。

## 職員共同研修事業

- ◆目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに指導力及び勤務能力の向上を図ります。
- ◆主な研修と対象となる職員
  - ・新任職員研修：新規採用職員
  - ・初級職員研修：在職期間4年以上
  - ・中級職員研修：在職期間10年以上
  - ・監督者研修：係長又は同等の職にある職員等
- ◆修了者数：計320人

# ごみ処理広域化推進事業

## ■中継施設について

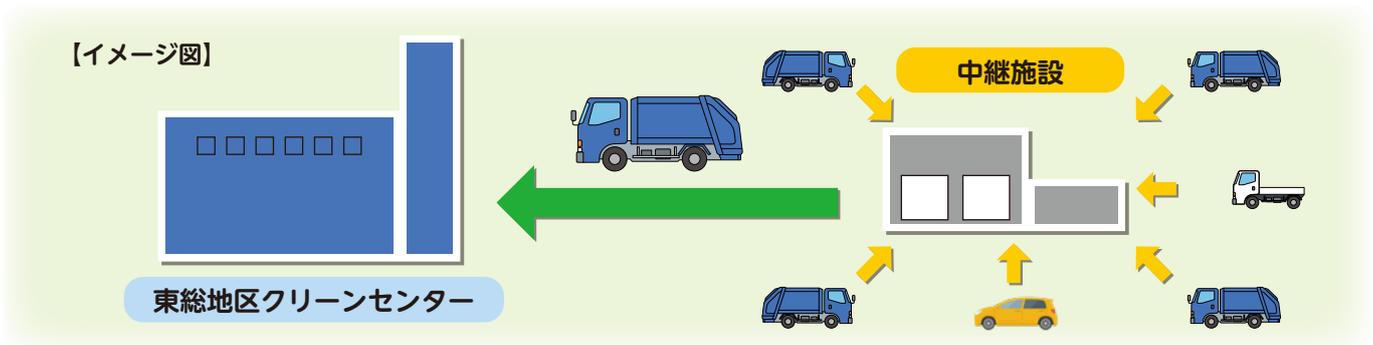
ごみ処理の広域化に伴い、これまでの各市のごみ焼却施設は、銚子市においては解体撤去を行い、旭市及び匝瑳市については広域ごみ処理施設の一部として「旭中継施設」、「匝瑳中継施設」と名称を変えて、一般の家庭から直接持ち込まれる粗大ごみなどを受け入れ、広域ごみ処理施設「東総地区クリーンセンター」へ運搬するための処理を行う施設として利用しています。

これまで一般家庭から排出されたステーション収集ごみは、各市のごみ焼却施設に搬入・処理されていましたが、現在は、東総地区クリーンセンターへ直接運搬され、処理しています。

今後は、ごみの収集運搬にかかる費用の縮減や運搬時間の短縮、東総地区クリーンセンター周辺の交通公害の軽減のため、旭市及び匝瑳市の既存ごみ焼却施設を解体撤去し、それぞれに新たな中継施設を整備する予定です。

## ■新たな中継施設とは

各市のごみ収集車（ステーション収集）により集められたごみや一般の家庭から直接持ち込まれるごみを、効率よく東総地区クリーンセンターへ運搬するため、一時貯留及び大型運搬車に積み替える拠点の施設です。大型運搬車に積み替えられたごみは、東総地区クリーンセンターに運搬され処理されます。



## ■中継施設整備スケジュール

	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)	令和13年度 (2031)	令和14年度 (2032)
匝瑳中継施設	解体撤去工事		施設建設工事		施設稼働開始				
旭中継施設					解体撤去工事		施設建設工事		施設稼働開始

※ 工事の進捗によっては行程が前後する場合があります。

# 組合議会

## ■組合議会とは

組合議会は、組合を構成する銚子市、旭市、匝瑳市から選出された9名の議員で構成されています。

年2回（9月と3月）の定例会のほか、必要に応じて臨時会が開催され、組合予算の決定・決算の認定等を審議します。

## ■組合議員（令和6年3月1日現在）

議長 林 晴道（旭市）

副議長 広野 恭代（銚子市）

議員

石上 友寛（銚子市） 石上 允康（銚子市）

飯嶋 正利（旭市） 宮澤 芳雄（旭市）

平山 政利（匝瑳市） 荻谷 進一（匝瑳市）

武田 光由（匝瑳市）